



リポーター

大河原美代さん(狭山台在住)

市民の皆さんにリポーターになっていただき、市の施設や事業をご紹介します。



一般の人がふつつ見ることのない、開票風景。こんな風に手作業で開票作業が進められているのです

4月は統一地方選挙がありますね。皆さん、投票には行かれましたか。今回は、どんな風に選挙が行われているのかを知るために、選挙管理委員会でお話を伺いました。選挙管理委員会は、市長選挙をはじめ、国・県・市の議員選挙や農業委員の選挙など、8種類の選挙を管理・執行しています。一口に管理・執行と言っても、選挙人名簿の登録・抹消や選挙前に郵送されてくる入場整理券の管理・発送など、どれ一つを取っても、公正な選挙のためには絶対に間違いの許されない業務ばかりだそうです。また、選挙前には候補者のポスターを市内のあちこちで見かけますが、あの掲示板も委託業者と市職員が立

か所以上もあるということ、そういった作業だけでもかなり大変だと思いました。

次に、新聞などで、全国的に投票率が低い」という記事を見ることが多いので、狭山市では投票率を上げるためにどんな工夫をしているのかたずねました。まずは、街を走る福祉循環バス・茶の花号をラッピングしているそうです。これは数年前の選挙から始めた啓発ですが、かなり目を引くので効果的だと思えます。また、若い世代の方に選挙への関心を持ってもらうために、不在者投票の立会人を20歳代の方にお願するなどの取り組みもしているそうです。立会人経験者には、初めて選挙権を得たので、選挙ってどんなものだろうと思うと応募してみたいけれど、立会人をやってみて興味が変わった」と好評で、効果も上々のようです。他にもさまざまな場面で選挙を啓発しているそうなので、皆さんも選挙前には注意してみてください。私も、こんなPRをしたら投票率アップになるのでは」というアイデアを思いついたら、お話ししてみようと思います。

また、狭山市公式ホームページには選挙管理委員会のページがあり、各投票所までの案内図、選挙に関するQ&Aなど、ふだんはあまり気に留めないもので知らないことも多い「選挙」について、分かりやすく掲載してあります。そして狭山市ではホームページで投票・開票速報を、モバイル版では開票速報を流しており、投票当日には頻りにアクセスが、各方面で便利だと喜ばれているそうです。投・開票ともにまさに「速報」ですし、狭山市のようにモバイル版をiモード・ezウェブ、Jスカイすべてに対応している市町村は、県内でもあまり例がないそうです。私も投票時間終了後に速報を何度か見ましたが、早い時間に情報が出ていてとても驚きました。

これからは選挙にどんどんITが取り入れられることでしょう。近い将来には、自宅にいながらにして電子投票ができるそんな時代がくると思います。皆さんも、選挙に関心を持ち、私たちの代表を決める大切な選挙である意識して、貴重な一票を無駄にしないようにしましょ。

21歳の立会人さん



オピニオン

身近な場面で考える青少年教育

私は2児の父親として、昨今の地域での青少年教育について考えさせられることがあります。私が小学生のころは5~6クラスでしたが、今は2~3クラスしかないのです。この少子化の時代に、テレビや新聞などで少年犯罪や事故が報道されるにつけ、「明日は我が身」と自分自身に置き換え、どのように子どもたちに向き合い接していこうかと考えています。そして、学校教育も先生任せではなく、地域の大人、特に父親の参画が重要であり、空き教室の利用や土・日曜日の学校開放などを行い、学校と地域との連携を密にし、さまざまな青少年教育に関する問題を一つずつ解決できたらと思っています。そのためには、市の施策や制度なども学び、私自身の考えや意見なども積極的に発言しながら活動していきたいと考えています。ぜ



ひ、「青少年教育が素晴らしいまち・狭山市」を私たち市民と共に目指してください。

水野在住・30歳代・栗原浩さん

市からの回答

ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、子ども達を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、教育制度の改革も次々に進んでおります。それに即応する柔軟な感覚は、子どもだけでなく保護者や地域の大人も持たなければなりません。市では、学校週5日制を契機とし、子ども達にゆとりを確保し、自ら学び・考える「生きる力」を育てるため、これまで以上に地域に開かれた学校を皆さんとともに作りたくと考えています。子どもを対象とした公民館事業を拡充し、ジュニアリーダーの養成講習会やキャプテンクラブの活動などを充実します(16ページに募集記事)。そして今後も家庭や学校、地域社会、市が十分な連携をとって直面する課題に取り組んでいきたいと考えています。栗原さんも、親御さんならではの視点でご提案などをいただきながら、今後も活動を続け、青少年教育に関する諸問題に取り組んでいただけると幸いです。 担当・教育委員会、市民活動支援課



AET corner

Gareth Walker・狭山台中学校勤務

Did you have a good Golden Week? The holiday got me thinking about how people in different countries experience the year differently. Take May, for example. In Japan the school year is still new and the baseball and soccer seasons have only just started. In Scotland however, May sees national school exams and university exams. Also the football season finishes so May is a month of endings in Scotland. People in every country think about the year in terms of the seasons and the cultural and sporting events that happen in each season. May means Golden Week in Japan, December means Christmas in Scotland. In both countries these events and more are important parts of shared national life. Every country has its own special ways to celebrate the year but the feelings people in every country have about the events are usually similar even when the events are sometimes quite different.

ゴールデンウィークはどうでしたか。休日は、それぞれの国の人々がどのように1年を過ごしているのかを考えさせてくれます。5月を例にあげると、日本では新学期の雰囲気が続き、野球とサッカーのシーズンが始まったばかりです。スコットランドでは、5月は全国的に学校や大学の試験があり、サッカーのシーズンが終わり、物事の終わりの月でもあります。どの国でも、1年を季節に分けて考えていて、その季節の文化的、スポーツ的な行事への思いを持っています。日本の5月はGWを、スコットランドの12月はクリスマスを表します。これらの行事は国民生活の重要な部分を占めています。どの国も、1年を祝う独特の方法を持ち、時に行事自体がまったく違っていても、人々が寄せる行事への思いは似ているようです。<ガレス・ウォーカー>(英文の要約)



●自分たちで創りあげるハーモニー
生徒会本部で結成されて以来、受け継がれ、今でも生徒たちだけで活動している合唱団があります。歌の大好きな約50名が、昼休みを利用して練習しています。顧問の先生はいませんが、リーダーを中心に、歌を通して心を一つにしています。

●昨年は西関東大会金賞!
今年も力を合わせてがんばります
吹奏楽部は、現在30名。「心を込めて」をモットーに、仲間を大切に、人に感謝することを忘れず活動しています。新入生を仲間として迎えるのが今は楽しみです。



東中学校